

事例 2

保育施設が地域住民と描く「子どもの未来」

【光輪会 × 有徳会 × 桑の実会 × 若狭会 × 栄光会
× 所沢市社会福祉協議会】

取組概要

保育園、認定こども園を運営する 5 つの法人

- ・和食育講演会の企画、運営
- ・保育園、認定こども園の紹介コーナーの企画、運営
- ・住民懇談会の開催

所沢市社協

- ・住民懇談会の開催



住民懇談会

地域住民のニーズを把握



和食育講演会



高齢者や子育て世代への食育・参加しやすい場づくり

●取組内容

保育園、認定こども園を運営する 5 つの法人と社協が協力して、和食育講演会と住民懇談会を同時開催しています。

住民懇談会は社協が運営し、各法人は住民と同じテーブルに座り、「子どもの未来」をテーマに、地域で協力し合えることはないかディスカッションしました。



↑住民懇談会の様子



↑和食育講演会の様子

その後行った和食育講演会は、保育園、認定こども園を運営する法人が協働して企画、運営し、保育施設に食のプロである栄養士がいる強みを活かして、健康を考えた和食中心の食生活に関する講演を行いました。当日は、53名の参加がありました。

● きっかけ

平成 27 年、市内で 2 つの認定こども園を運営する光輪会では「地域のニーズを発掘することが重要」と考え、市の地域福祉計画と市社協の地域福祉活動計画を確認しました。それを基に社協に相談に行き、話し合いの結果、平成 28 年度に共催で住民懇談会を開催しました。

平成 29 年度には地域の他の保育園を運営する法人にも声を掛け、6 法人で協働して開催しました。

● 苦労・工夫したところ

地域の方に保育施設を身近に感じてもらえるように、開催場所も保育施設にし、各園を紹介するコーナーも設けました。また、各法人の負担をできるだけ減らすため、打ち合わせは 1 回で効率良く済ませました。

その他にも、住民懇談会では、各法人が全てのグループに参加することで、住民のニーズを吸い上げ、保育園、認定こども園としてできることを考えました。



↑ 保育園、認定こども園
紹介コーナーの様子

● 効果

法人 ・ 保育施設を身近に感じてもらえる機会になった。

法人 社協 ・ 複数の法人が協働することで、様々な視点から意見が出て、できることが広がった。

社協 ・ 和食育をテーマにすることで、困っている人も困っていない人も参加しやすく、いつもと違う参加者に住民懇談会に参加してもらえた。

地域 ・ 和食育がテーマなので参加しやすく、子どもに関する課題や地域でできることを考えるきっかけになった。

地域 ・ 参加者からも好評で「保育園の先生と話せる機会がただけてよかった。今後も続けていただき、連携していけると良い」等の声があった。